

2801 文献史料による歴史地震に関する情報の収集とデータベースの構築・公開
担当者 佐藤孝之(sato@hi.u-tokyo.ac.jp)

・実施機関（代表機関）名

東京大学史料編纂所

・研究目的

低頻度大規模地震の実態把握のためには、近代以前の地震についての調査も必要である。本研究計画では、近代以前の文献史料を対象に、過去の地震に関する記録を収集し、そのデータベース構築と公開を実施する。具体的には下記の課題を行う。

- ① 近代以前に日本列島周辺で起きた地震（以下、歴史地震と呼ぶ）に関しては、地震研究所などの編によって、すでに33冊（約3万頁）に及ぶ史料集が刊行されているが、幾度もの増補を重ねたものであるため、現状では地震研究者にとっても歴史研究者にとっても利用しづらい状態にある。本研究計画では、この既刊の史料集に収録された史料を研究し、地震の発生した年月日、場所の情報によって検索可能なデータベースを構築する。
- ② 既刊史料集に収録されない地震関係新史料の調査を実施し、その成果を情報化し、公開する

上記の取組によって、近代以前に起きた地震の規模・震源の推定、低頻度大規模地震についての将来的な予測に寄与することが期待される。